

第五期（2016年度）事業報告書

（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

法人の名称 特定非営利活動法人 アーモンド コミュニティ ネットワーク

1 事業の成果

多様な個性・文化・価値観を持つ人々で構成されたコミュニティの中で、(1)人と人とを隔てる様々な問題に対して働きかけ、隔ての中垣を越えて ところを支え合い、健やかに共に生きるために (2)「相手の話をより良く聴くこと」「傾聴活動」を土台とした支援事業を行い、市民が孤立することのない (3)共生の社会と平和なコミュニティの実現に寄与することを目的に活動を展開した。（定款より、事業の目的）

今年度の大きな報告は、「アーモンドホープセンター」の開室が決まったことである。一年間の「アーモンドこども食堂」の活動により、地域住民やさまざまな組織との繋がりと連携が新たに生まれた。「生きづらさの問題」の先にある孤立化・ひきこもりを防ぐためには、人と人の関わりが生まれる居場所（＝心の拠り所）を作り、自分の気持ちが話せる「対話」の関係性を「傾聴」の姿勢で支えることが大切だ。困難を抱える子ども青少年達とひとり親を中心において、彼らの希望の場となるように「アーモンドホープセンター」の事業を育てていきたい。

<新たな展開を達成した事業>

1 「アーモンドこども食堂」

日々の支援の現場で、問題を抱える子どもたちに寄り添い、彼らの言葉と生活を「傾聴」し、聴こえてきた「必要」の一つが、「アーモンドこども食堂」の出発であった。「ボランティア各自ができるところから、少しずつを提供しあい、補いあって出発する」という形でスタートし、支援者には配食ボランティア、民生委員・児童委員、地域の農家、都筑区社会福祉協議会、横浜市社会福祉協議会、横浜労働者福祉協議会、大学生や地域住民の有志が集まった。事業立ち上げ資金は、都筑区地域福祉保健計画に基づいた課題解決事業への助成「つづき あい基金」で補い、厨房のない拠点あ・る・く施設での食堂運営をスタッフの熱意と行動力で実現できた。

月1回土曜のこども食堂には、53㎡の拠点が小中学生で溢れることもあり、食事の後の学習カルタや百人一首を子どもたちは楽しみ、その後は学習に集中していた。食を通じた交流は居場所の関係性にとっても良い影響を与えていた。厨房設備があれば、回数も増やせるし、子どもや親の対象者も広げることができるとの思いから、法人拠点のあるエキニワ北山田ビルのカフェ空き店舗での運営を願っていた。多文化共生社会セミナーでの出逢いによりクレディスイス証券(株)助成金に申請ができ、18歳までのこども青少年を支え育成する事業資金を得た。アーモンドの花が意味する「希望」へ向かう居場所として、来期は「アーモンドホープセンター」を開室し、「アーモンドこども食堂」から発展した「アーモンド希望食堂」を運営する。

2 「横浜に聴くプロジェクト」(横浜市後援事業)

「多文化共生社会の実現と横浜の歴史・文化・市民をテーマとするプロジェクト」として、5代前の曾祖父からの家族史「横浜ヤンキー」の著者ヘルム氏を米国から招き、特別講演会「多様性に開かれた多文化共生社会へ～横浜ヤンキーに聴く～」を開催した。横浜市国際局長が挨拶に立ち、参加者は9カ国に関係があり、アンケートからは約5割が日本で不登校・発達障がい等を経験していた。傾聴ワークショップを行ない熱心な対話の場となったセミナーでは、日本社会の多様性の現状と「お互いを受け容れ共に生きるための傾聴」の大切さが浮き彫りとなった。今期は外国につながる家族支援で活動している「TCKs Green House」事業と歴史文化社会をテーマとする「横浜に聴くプロジェクト」事業の効果的な連携ができた。また7月には「米国カウンセラー養成事業と多文化カウンセリング」セミナーを、米国認定カウンセラーの会員を講師として開き、多文化カウンセリングのテーマで傾聴の学びを深めることができた。

3 「アーモンド・凸凹コミュニティアート・プロジェクト」

「地域の福祉的課題である小中学生の不登校や、高大生の中退、ひきこもり、ニートといった生きづらさを抱える青少年と家族へのサポート」としてイタリア在住アーティストの会員と進めてきた。今期は横浜市地域文化サポート事業「ヨコハマアートサイト2016」から「地域課題の解決につなげる文化芸術活動」として採択事業に選ばれた。青年会員のひきこもる想いを描いた詩「闇を恐れず光を恐れず」をテーマとして、別の青年会員によるアニメーション制作が横浜とイタリアをネットでつないで行なわれた。イタリアから原画と音楽とアニメ評論の提供があり、また法人として初めて日・英のバイリンガルの小冊子(DVD付き)を製作し大変に好評を得た。活動内容の英語での発信の重要性を認識した。アニメーション上映会とアートワークショップ活動は、法人北山田拠点 あ・る・くと横浜市歴史博物館を会場として行なった。

来期は「横浜北部の民話」をテーマに原画が描かれ、日本で最古のアニメーションにある技法を使ったアートワークショップを行ない、アニメーションDVD付き小冊子を製作する。凸凹な個性の子ども達が自己肯定感を高めていくきっかけとしても活動をしている。

特定非営利活動に係る事業

・事業開催日数と受益者数の表はP.6に記載。

(1) 子育て支援の推進等に関する事業

「アーモンドこども食堂」(上記)

(2) 青少年の健やかな成長の推進等に関する事業

ア 「寄り添い型青少年支援‘ともにあ・る・く’フリースペース事業」

傾聴によるこころの支援、居場所支援、学習支援、相談支援、就労支援等。15歳～18歳までのジュニアメンバーと30歳代までのシニアメンバーが、落ち着いた環境で自分のペースを取り戻し、将来への再スタートを切るために実施している。

イ 「都筑区寄り添い型学習支援事業‘いっしょにあ・る・く’」

横浜市「都筑区寄り添い型学習支援事業」(小中学生)は登録者数40名、参加延べ人数1849名であった。都筑区は生活保護世帯の母子世帯の割合が9.4%(横浜市平均7.1%)、障がい者世帯15.3%(〃13.1%)と多い。春には、不登校状態であった中三生を含む19名

全員が希望する高校へ無事に進学できた。今年度から神奈川県立高等学校の試験結果が受験生に手渡され、寄り添い型で学んだ中三生の「面接試験」には高得点の結果が並び、彼らの「言葉にする力」が養われてきたことが明らかになった。「学習支援」と「傾聴の場」での関わりが子どもたちの自己肯定感を高めている。不登校状態からの面接やスピーチの練習等は子どもにとって自分自身を言葉にしていくプロセスの経験となり、「これまで」と「今」と「これから」を見つめる体験となり、将来に向けてのビジョンを意識できるようになった。子どもたちは常設型・伴走型の安心できる居場所につながり、ともに生きる仲間と出逢うことで、おおらかに笑うことが増え、どの子も将来に対して意欲的で積極的になった。

「寄り添い型支援事業」では高校に入学してからの各自へのサポートが非常に重要である。来期はアーモンドホープセンターでの高校生以上への「学習支援」は総務省事業での連携団体 NPO 法人 eboard からの協力を得ることで、さらに効果的な「ICT 教育での学び」を準備している。

法人が学習支援の現場に取り入れている ICT 教育 (e-learning) は、パソコンやネット環境が家庭になく、触れる機会が少ないためにインターネットの理解が遅れがちな青少年にとって、進学や就労で必要となるスキルを身に付ける機会となる。また学習障がい傾向の成績不良の小中学生に新たな学び方を経験させ学習に意欲や興味を持たせる効果がある。連携組織 NPO 法人 eboard との総務省「ICT ドリームスクール実践モデル」事業は二年度目に入り、総務省の視察もあり報告書にも掲載された。「NPO 法人や自治体等の連携による学習困難者支援モデル」として「傾聴による支援が ICT 教育の導入にどのような効果を与えるか」の実証実験を eboard と行っている。アンケート等からは「傾聴する人がいる常設型の居場所」に繋がっている青少年は自己肯定感や学習意欲が高いことが見られた。

イの事業内容：都筑区役所こども家庭支援課、生活支援課との協働事業。北山田の法人拠点で、生活困窮者自立支援法の趣旨に基づき、複合的課題を抱える世帯の小・中学生を対象に、傾聴によるこころの支援、学習支援、居場所支援、相談支援、生活支援等を実施した。学習面の支援に加えて、脆弱な養育環境に配慮し、子どものこころを支えるために、居場所で受容的な人間関係を築くことを目指した。学齢に関わらず基礎からの学習支援と、いつも笑いのある明るい居場所の環境を作った。

* 複合的課題を抱えた世帯とは…不登校、生活保護、外国籍家庭、ひとり親（多くが母子家庭）、親のメンタルや身体の疾病、親の引きこもり、家族や兄弟姉妹の障がい等の問題が、複合的に重なっている世帯。都筑区の状況は生活保護世帯に母子世帯と障がい者世帯が多い。

ウ 「思春期問題、不登校問題からの道しるべ～MY Café」事業

子どもの不登校の問題を抱える親のために安心して話せる居場所を通年で毎月 2 回開催した。‘ACN 傾聴ワーカー’が参加者の悩みを傾聴した。必要に応じて理事長（心理カウンセラー）の個別相談を実施した。‘ACN 傾聴ワーカー’とスタッフは、内閣府、横浜市青年相談センター、横浜市ユースプラザ、神奈川県立青少年センターでの「青少年問題」研修に積極的に参加し、青少年問題や心の問題の理解を深めた。

エ 「生きづらさを抱えた子ども・青少年と家族のための寄り添い型相談事業」

神奈川県フリースペース等事業費補助金事業として相談事業を行なった。電話とメールでの初回相談から面接相談を行ない、生きづらさを抱えた子ども・青少年と家族を支えた。電話、メール、面談、訪問・同行により、助言、他機関の紹介、情報提供等を行ない、発達障害、ひきこもり、不登校、非行、精神保健、就労関係、学校関係、対人関係、家庭間

題、児童福祉、健康問題、生活問題等を扱った。生活保護世帯、非課税世帯の青少年と親に対しては法人として独自に相談料の減免制度を設けた。

(3) 多文化共生の推進等に関する事業

ア 「横浜に聴くプロジェクト」(上記)

イ 「TCKs Green House」

日本のグローバル化による地域住民の抱える問題を、傾聴によるこころの支援、居場所支援、相談支援で支えた。子育ての時の「文化と教育言語」の問題や「人と人とを隔てる様々な問題」について語り合い傾聴しあう当事者グループ「TCKs Green House」は毎月1回の定例会を開催している。「ACN 傾聴ワーカー」が居場所での支援を担った。

(4) 障がい者支援の推進等に関する事業

「多様性、個性、障がいを支え育てるための傾聴セミナー」を「傾聴」を学んだ障がい当事者の法人会員と企画し開催した。「障害者差別解消法」についても触れ、生きづらさを抱える人を支える「傾聴」の働きについて地域住民と共に学んだ。

(5) 高齢者支援の推進等に関する事業

「傾聴コミュニティカフェ活動」は、「ACN 傾聴ワーカー」が担い手となり、乳幼児から高齢者までの異世代の地域住民が出逢い、交流をはかる場として運営してきた。子育て中のお母さん、外国に繋がる地域住民、不登校の学生、ひきこもりがちな青年男女、こころが疲れている人が、自分のペースで参加できる居場所として、年齢に関係なく気軽に参加できるアート活動も開催した。

(6) コミュニティ活動の推進等に関する事業

「アーモンド・凸凹コミュニティアート・プロジェクト」事業 (上記)

(7) 上記の事業に関連する教育・学習・研修・啓発・相談に関する事業

ア 「学習支援事業における傾聴活動と ICT 教育」(上記)

イ 「eboard 特別講座 ネットで学ぶ」

NPO 法人 eboard 理事長中村孝一氏を招き、中学生を対象に行なった。法人の学習支援に携わる社会人・大学生ボランティアも参加した。

ウ 「ACN 法人スタッフ&ボランティア研修会」

職員研修「NPO 法人が果たす役割～協働を知る～」をつづき MY プラザ館長林田育美氏を招き行なった。

(8) その他この法人の目的を達成するために必要な諸事業

法人理事長は平成 28 年度も「横浜市子どもの貧困対策に関する計画推進会議」の有識者委員として会議に加わった。また内閣府主催「子供の貧困対策マッチングフォーラム」へのパネラー登壇で、活動紹介とディスカッションに参加した。

<平成 28 年度の受託事業・助成金・補助金・後援事業・寄附金の実績>

- ・「都筑区寄り添い型学習支援事業 いっしょにあ・る・く」
横浜市都筑区役所より受託 9,542,880 円
子ども家庭支援課・生活支援課との協働事業
- ・「ACN 寄り添い型青少年支援 とともにあ・る・く」
都筑区社会福祉協議会 ふれあい助成金事業 230,000 円
(地域福祉保健計画推進事業として)
- ・「生きづらさを抱えた子ども・青少年と家族のための寄り添い型相談事業」
神奈川県立青少年センター
「神奈川県フリースペース等事業費補助金事業」 760,000 円
- ・「アーモンドこども食堂」
都筑区社会福祉協議会 つづき あい基金 100,000 円
(地域の課題の解決や目標の実現に向けて取り組む団体に助成。「都筑区地域福祉保健計画」の目標や視点のいずれかが含まれ、地域の現状と課題を踏まえ目標の実現に向けて具体的に取り組んでいる活動として)
- ・「傾聴コミュニティカフェ」活動
都筑区社会福祉協議会 年末たすけあい募金助成事業 30,000 円
- ・「アーモンド・凸凹コミュニティアート・プロジェクト」
横浜市地域文化サポート事業
「ヨコハマアートサイト 2016」助成事業 240,000 円
(地域課題の解決につなげる文化芸術活動として)
- ・「横浜に聴くプロジェクト」
横浜市後援事業
(「多文化共生社会の実現と横浜の歴史・文化・市民をテーマとするプロジェクト」として)
- ・「クレディ・スイス証券(株)助成金」事業 982,099 円 (今期分)
(「18歳までのこども青少年に係る育成と教育とサポート事業」に対して)

- ・ 寄附個人 …… 44 名 1,080,922 円
- ・ 寄附団体 …… 3 団体 680,149 円
(クレディ・スイス銀行東京支店有志社員、横浜労働者福祉協議会、(株)コタニ興業)

<法人会員数>

正会員 22 名
賛助個人会員 77 名、賛助団体会員 3 団体

<マンスリーサポーター>

14 名(正会員・賛助会員)・・・年間 12000 円以上の会費納入者

平成 28 (2016) 年度 法人事業開催日数と受益者数

	事業名	事業内容	開催日数	受益者延べ人数
1	子育て支援の推進等に関する事業	アーモンドこども食堂	11 日	239 名
2	青少年の健やかな成長の推進等に関する事業	青少年支援 ともにあ・る・く	141 日	459 名
		寄り添い型学習支援事業(都筑区役所)	253 日	1849 名
		不登校支援 MY カフェ	21 日	17 名
		寄り添い型相談事業(神奈川県)	200 日	367 名
3	多文化共生の推進等に関する事業	横浜に聴くプロジェクト	5 日	101 名
		TCKs Green House	10 日	32 名
		「米国のカウンセラー養成事情と多文化カウンセリング」(共催事業)	1 日 7/23	35 名
		ACN セミナー「多文化共生社会と日本」 米国ミズーリ州セントルイス市ワシントン大学アジア学教授より依頼。訪日の教授と大学生が参加。	1 日 3/15	38 名
4	障がい者支援の推進等に関する事業	「障がいと傾聴セミナー」(共催事業)	1 日 12/17	23 名
5	コミュニティ活動の推進等に関する事業	アーモンド・凸凹コミュニティアート・プロジェクト	9 日	324 名
		傾聴コミュニティカフェ	85 日	87 名
6	上記の事業に関連する教育・学習・研修・啓発・相談に関する事業	「傾聴支援と ICT 教育」特別講習(NPOeboard と協働)	2 日	25 名

平成 28 年度の法人の活動状況・連携事業・研修等

	北山田拠点 あ・る・く で開催している事業	外部会場での法人事業 連携団体の勉強会	連携組織と連携活動	理事長・理事の動き	理事会
通年	<p>【会場】北山田拠点 あ・る・く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月曜～金曜(土曜日月1回) 都筑区役所協働事業 都筑区寄り添い型学習支援事業「いっしょにあ・る・く」 ・週日 ACN 本来事業「青少年支援 ともにあ・る・く」 ・火曜・木曜「傾聴コミュニティカフェ」 ・第3火曜 不登校支援「MY カフェ」 ・第4木曜 多文化共生支援「TCKs Green House」 ・神奈川県フリースペース等補助金「相談事業」 個人カウンセリング／面談・メール・電話相談 ・月1回 土曜日「アーモンドこども食堂」 土曜日「英語カフェ」 	<p>【会場】つづき MY プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校支援「My カフェ」 第1月曜日 ・12 Baskets Full ～思春期のころを聴く～ 第2水曜日 <p>【会場】かけはし都筑(都筑区社会福祉協議会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横浜に聴くプロジェクト・勉強会 ・ボランティア傾聴研修 ・多文化カウンセリングセミナー ・障がいと傾聴セミナー ・アーモンドの会～ころを聴くカウンセリング勉強会 ・傾聴の広場 <p>【会場】横浜市歴史博物館、他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・凸凹コミュニティアートプロジェクト 	<ul style="list-style-type: none"> ・都筑区役所 ・都筑区社会福祉協議会 ・つづき MY プラザ ・横浜市青少年相談センター ・横浜市 ・神奈川県青少年センター ・内閣府 	<ul style="list-style-type: none"> ・「横浜市子どもの貧困対策に関する計画推進会議」委員 ・「横浜市青少年の地域活動拠点運営団体選定にかかる検討会」委員 ・横浜美術館ボランティア傾聴研修 ・横浜市地域子育て支援拠点職員傾聴研修 ・障がい者後見の支援室職員傾聴研修 ・横浜 YMCA 傾聴研修 ・こんにちはあかちゃん訪問員傾聴研修 ・横浜市更生保護女性連盟全体研修会 	<p>定例会: 3ヶ月に1回</p> <p>担当理事ミーティング: 不定期</p>
4月	<p>19日(火) 不登校支援「My カフェ」</p> <p>28日(木) 多文化支援「TCKs Green House」</p>	<p>4日(月) 不登校支援「My カフェ」</p> <p>9日(土) 「横浜に聴くウォーキングツアー」～横浜 山下町～(ロバート・エスキル・セン:以下、ロブ)</p> <p>26日(火) アーモンドの会</p>		<p>14日(木) 「You&Me」傾聴研修講師(中川地域ケアプラザ)(水谷)</p>	<p>23日(土) 理事会</p>
5月	<p>2日(月) こども食堂:配食活動団体とミーティング</p> <p>17日(火) My カフェ</p> <p>18日(水) こども食堂スタート運営ミーティング</p> <p>18日(水) 東山田中学校コミハより視察</p> <p>23日(月) こども食堂スタッフミーティング</p> <p>26日(木) TCKs Green House</p> <p>28日(土) 第1回「アーモンドこども食堂」</p> <p>31日(火) NPO法人eboardと「総務省ICTドリームスクール実践モデル事業連携」ミーティング</p>	<p>11日(水) 12 Baskets Full</p> <p>20日(金) 「横浜に聴く勉強会」講座:「戦後横浜」(ロブ)</p> <p>21日(土) 「多様性に開かれた多文化共生社会へ 後援:横浜市～横浜ヤンキーに聴く～」特別講演会(講師:レスリー・ヘルム氏、ロバート・エスキル・セン副理事長) 会場:かけはし都筑</p> <p>31日(火) アーモンドの会</p>		<p>12日(木) 「You&Me」傾聴研修講師(中川地域ケアプラザ)(水谷)</p> <p>27日(金) 凸凹コミュニティアートプロジェクト事業「ヨコハマアートサイト 2016」キックオフミーティング(水谷、参加アーティスト)</p>	

6月	2日(木) こども食堂スタッフミーティング 10日(金) こども食堂スタッフミーティング 18日(土) 第2回「アーモンドこども食堂」 21日(火) My カフェ 23日(木) TCKs Green House 30日(木) こども食堂スタッフミーティング	6日(月) My カフェ 11日(水) 12 Baskets Full 10日(金) 「横浜に聴く勉強会」講座: 「国際化する横浜」 28日(火) アーモンドの会	22日(水) 都筑区社会福祉協議会「つづき あい基金」審査会(「こども食堂活動」申請) 27日(月) 思春期セミナー共催事業(つづき MY プラザ)	8日(水) 朝日新聞より「子どもの貧困」の取材(水谷) 12日(木) 「You & Me」傾聴研修(水谷) 19日(日) 横浜美術館「ボランティア傾聴研修」打ち合わせ(水谷) 20日(月) ヨコハマアートサイト事務局よりヒアリング来所	4日(土) 法人通常総会
7月	6日(水) 総務省課長現場視察「総務省ICTドリームスクール実践モデル」NPO法人eboard来所「ICT教育連携ミーティング」 15日(金) こども食堂スタッフミーティング 16日(土) 第3回アーモンドこども食堂 19日(火) My カフェ 22日(木) こども食堂スタッフミーティング	4日(月) My カフェ 9日(土) 「横浜に聴く勉強会」ウォーキングツアー「異国人居留地山手」(ロブ副理事長) 13日(水) 12 Baskets Full 23日(土) ACN 特別講座「米国のカウンセラー養成事情と多文化カウンセリング」講師:水谷維麻会員(共催:TCKs Green House & アーモンドの会)		12日(木) 「You & Me」傾聴研修(水谷)	30日(土) 理事会
8月	8日(月) スタッフミーティング 19日(金) 第4回アーモンドこども食堂 24日(水) NPO法人eboard来所「総務省ICTドリームスクール実践モデル教育連携」ミーティング 25日(木) TCKs Green House 26日(金) こども食堂スタッフミーティング	5日(金) 傾聴の広場 23日(火) アーモンドの会	26日(金) 賛助団体会員「つづきワイズメン&ウィメンズクラブ」と「2016YOU&I コンサートキックオフミーティング」(水谷・ロブ)	3日(水) 横浜美術館:美術館ボランティアの傾聴研修講師(水谷) 23日(火) 「横浜市内フリースクール研究会」参加(水谷) 24日(水) 「食品衛生管理者講習会」(水谷)	
9月	2日(金) NPO法人eboard来所「総務省ICTドリームスクール実践モデル教育連携ミーティング」 3日(土) 第5回アーモンドこども食堂 3日(土) 横浜市都筑区社会福祉協議会局長来所 8日(木) NPO法人eboard来所「総務省ICTドリームスクール実践モデル」事業と「教育連携ミーティング」 19日(月) クレディスイスイ証券(株)助成金申請準備スタッフミーティング 20日(火) 不登校支援「My カフェ」 23日(金) こども食堂スタッフミーティング 24日(土) 凸凹コミュニティアートプロジェクトアートワークショップ(指導:牧田あゆみ会員) 29日(木) TCKs Green House	2日(金) 傾聴の広場 5日(月) My カフェ 13日(火) アーモンドの会 14日(水) 12 Baskets Full	10日(土) フリ・フリ・フェスタに団体参加(神奈川県立青少年センターと共催) 21日(水) 凸凹コミュニティアート会場下見(横浜市歴史博物館) 29日(木) かけはし都筑ボランティア交流会	1日(木) 「横浜市子どもの貧困対策に関する計画推進会議」委員(横浜市子ども青少年局)(水谷) 8日(木) 「You & Me」傾聴研修(水谷) 12日(月) 緑区地域子育て支援拠点いっぽ職員傾聴研修講師(水谷) 26日(月) NHKディレクター取材来所「子どもの貧困の現状と支援」	

10月	<p>1日(土) 凸凹コミュニティアートプロジェクト アートワークショップ(指導:牧田あゆみ会員)</p> <p>12日(水) 青葉区役所来所「傾聴研修」打ち合わせ</p> <p>18日(火) 不登校支援「My カフェ」</p> <p>20日(木) こども食堂スタッフミーティング</p> <p>25日(火) クレディスイス証券(株) 助成金担当者視察来所</p> <p>27日(木) TCKs Green House</p> <p>28日(金) 凸凹コミュニティアートワークショップ&アニメーション上映(中学生対象)「闇を恐れず、光を恐れず」(指導:牧田あゆみ会員)</p> <p>29日(土) 第6回アーモンドこども食堂</p> <p>29日(土) 凸凹コミュニティアート展示最終日(アニメーション上映)</p>	<p>3日(月) My カフェ</p> <p>11日(火) アーモンドの会</p> <p>12日(水) 12 Baskets Full</p> <p>15日(土) 凸凹コミュニティアートプロジェクト「アニメーション上映会&アートワークショップ」(会場:横浜市歴史博物館)</p> <p>28日(金) 傾聴の広場「傾聴ワーカー養成セミナーNo.1」(かけはし都筑)</p>	<p>8日(土)「You&Iコンサート」共催事業運営委員(都筑公会堂)</p> <p>26日(水) 北部地域若者支援連絡会(北部ユースプラザ)</p>	<p>7日(金) 障がい者後見の支援室ほどがやゆめあん「職員傾聴研修」(水谷)</p> <p>19日(水) 都筑区社会福祉協議会主催「傾聴ボランティア研修」講師 かけはし都筑(水谷)</p>	<p>22日(土) 理事会</p>
11月	<p>4日(金) こども食堂スタッフミーティング</p> <p>9日(水) 都筑区山田地区社協事務局長が来所</p> <p>10日(木) 横浜労働者福祉協議会事務局長と横浜市社会福祉協議会職員が来所</p> <p>「アーモンドこども食堂へのヒアリング」</p> <p>12日(土) 第7回アーモンドこども食堂</p> <p>15日(火) My カフェ</p> <p>24日(木) TCKs Green House</p> <p>30日(火) 横浜市社会福祉協議会職員来所</p> <p>ヒアリング「こども食堂と学習支援」</p>	<p>4日(金) 傾聴の広場「傾聴ワーカー養成セミナーNo.2」(かけはし都筑)</p> <p>7日(月) My カフェ</p> <p>9日(水) 12 Baskets Full</p> <p>29日(火) アーモンドの会</p>	<p>22日(火) メンタルヘルスコース研修へ ACN スタッフ参加(横浜市青少年相談センター)</p> <p>29日(火) 自殺対策メンタルヘルスコース研修へ ACN スタッフ参加(横浜市青少年相談センター)</p>	<p>7日(月) 青葉区役所「傾聴研修講座」こんにちは赤ちゃん訪問員全体研修会(水谷)</p> <p>10日(木) 「You&Me」傾聴研修(水谷)</p> <p>14日(月) クレディスイス証券(株)助成金プレゼンテーション六本木東京本社(ロブ・水谷)</p> <p>18日(金) 横浜市こども青少年局「横浜市青少年の地域活動拠点運営団体選定にかかる検討会」(水谷)</p> <p>25日(金) //</p>	
12月	<p>5日(月) NPO法人eboard来所「総務省ICTドリムスクール実践モデル教育連携ミーティング」</p> <p>2日(金) こども食堂スタッフミーティング</p> <p>13日(火) アーモンドの会「コラーージュと傾聴」</p> <p>20日(火) My カフェ</p> <p>22日(木) TCKs Green House</p> <p>27日(火) 第8回アーモンドこども食堂</p>	<p>5日(月) My カフェ</p> <p>14日(水) 12 Baskets Full</p> <p>17日(土) 「障がいと傾聴セミナー」共催事業/講師:笠羽美穂会員(かけはし都筑)</p>	<p>3日(土) 都筑区社会福祉大会 分科会運営委員担当(都筑公会堂)</p>	<p>8日(木) 「You&Me」傾聴研修(水谷)</p> <p>11日(日) NPO法人eboard 3周年事業で連携事業の報告(水谷・ロブ)</p>	

<p>1月</p>	<p>2017年1月より、「クレディスイス証券(株)2017助成金の採択事業」として、18歳以下の子ども青少年育成事業の拡充を開始する。エキニワ北山田ビル2階(地上階)の厨房付き空き店舗を、2つ目の法人活動拠点「アーモンドホープセンター」として借りる賃貸契約に向けて始動する。</p> <p>4日(水) 新春の会「オープンダイアログ」(講師:エスキルト`セン副理事長)+アニメーション上映会「闇を恐れず、光を恐れず」</p> <p>12日(木) 子ども食堂スタッフミーティング</p> <p>17日(月) My カフェ</p> <p>21日(土) 第9回アーモンドこども食堂 支援 「横浜労働者福祉協議会」が食材提供に来所</p>	<p>11日(水) 12 Baskets Full</p> <p>13日(金) 傾聴の広場</p> <p>18日(水) 第2回社協ボランティア交流会・分科会</p> <p>31日(火) アーモンドの会</p>		<p>12日(木) 「You&Me」傾聴研修(水谷)</p> <p>24日(火) ヨコハマアートサイト事務局がヒアリングに来所(水谷)</p> <p>26日(木) 横浜北 YMCA 館長来所「傾聴セミナー」の打ち合わせ(水谷)</p>	<p>4日(水) 新春 ACN 上映会</p> <p>28日(土) 理事会</p>
<p>2月</p>	<p>2日(金) 子ども食堂スタッフミーティング</p> <p>11日(土) 第10回アーモンドこども食堂</p> <p>18日(土) 英語カフェ (エスキルト`セン副理事長)</p> <p>23日(木) TCKs Green House こども食堂スタッフミーティング</p>	<p>6日(月) My カフェ</p> <p>8日(水) 12 Baskets Full</p> <p>17日(金) 傾聴の広場</p> <p>20日(月) My カフェ</p> <p>28日(火) アーモンドの会</p>		<p>8日(水) 横浜労働者福祉協議会の全体会議にて「こども食堂」の紹介(水谷)</p> <p>9日(木) 「You&Me」傾聴研修(水谷)</p> <p>18日(土) 「子どもたちのいじめを見逃さないために～傾聴から学ぶ～」横浜中央 YMCA 主催(講師:水谷)</p> <p>22日(水) 「横浜市寄り添い型学習・生活支援事業者の意見交換会」横浜市立大学(水谷)</p>	
<p>3月</p>	<p>1日(水) ACN法人スタッフ&ボランティア研修会「NPO法人が果たす役割～協働を知る～」(講師:つづき多文化・青少年交流プラザ館長 林田育美氏)</p> <p>11日(土) 第11回アーモンドこども食堂</p> <p>21日(火) My カフェ</p> <p>23日(木) TCKs Green House</p> <p>25日(土) 英語カフェ(ロハート・エスキルト`セン)</p>	<p>6日(月) My カフェ</p> <p>15日(水) ACN セミナー「多文化共生社会と日本」米国セントルイス市ワシントン大学より教授と学生が参加(25名) かけはし都筑(ロハート・エスキルト`セン、水谷、林田育美氏)</p> <p>17日(金) 傾聴の広場</p> <p>21日(火) アーモンドの会</p>	<p>16日(木) つづき MY プラザ職員対象「傾聴研修」講師(水谷)(つづき MY プラザ)</p> <p>18日(土) ヨコハマアートサイト2016報告会で発表(水谷・松岡) 横浜美術館</p>	<p>2日(木) 内閣府主催「子供の貧困対策マッチング・フォーラム」法人活動紹介とパネルディスカッション(登壇・水谷)</p> <p>7日(火) 横浜市更生保護女性連盟全体研修会「子どもの貧困と地域社会ができること」～傾聴を土台としたNPOの日々の支援の現場から「子どもの貧困」を視る～開港記念会館(講師:水谷)</p> <p>8日(水) 横浜市こども青少年局「横浜市こどもの貧困対策推進会議」委員(水谷)</p>	<p>25日(土) 新規事業担当理事ミーティング</p> <p>28日(火) 新規事業担当理事ミーティング</p>